

美空 ~MISORA~

第203号

発行日:2026年7月31日

発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

目次 INDEX

- ・活動報告
- 東京理事会・合同理事会
- ・北海道支部活動委員会 1
- ・第14回無電柱化推進展概要報告 3
- ・推進展、NPOブース壁面パネル紹介 6
- ・イベント紹介 東京活動委員会 7

特定非営利活動法人

電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

7/8(水)17:00~17:30

東京理事会

WEB: Cisco Webex

参加者 10 名

1. 北村支部長より

※本日の議題と活動委員会の予定の確認

2. 推進展の運営について

3. 10/15(木)・16(水)の街並み見学会について

- ・御代田町を予定。
- ・小園町長の参加をお願いしたい。日程調整をしたい。
- ・せっかく自治体のかたに来てもらうのであれば、10 名以上参加者を検討
- ・現在の参加確認→現在7名
- ・10/17・18 に鳥取のぼうさいがあるので日程を変更してほしい

→合同理事会後、10/20(火)・21(水)で修正検討中。

4. 次回予定

8/6(木)東京理事会 17:00~17:30

合同理事会 17:30~18:00

東京活動委員会 18:00~19:00

住友林業会議室 M-2(比較的広い部屋と聞いています)



※7/16(木)17:10~18:00 無電柱化推進展交流会

8/ 6 (木) 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会
住友林業会議室(M-2)

8/31(月) 第15回全国技術委員会 OSAKA

大阪市立総合生涯学習センター5階第6研修室

9/16(水) 東京理事会・合同理事会(WEB のみ)

10/17(土)・18(日) 防災こくたい 鳥取県倉吉市

※7/31 までに決定通知が来る予定。

※8/12(水)に第2回分科会 18:30~20:00

10/20(火)~21(水) 無電柱化街並み見学会(予定)

※御代田町で調整中

10/25(日) 無電柱化の日イベント(予定) 全国地方新聞
社連合マター国交省イベント

※10 月に大阪の技術委員会(未定)

11/4(水) 東京理事会・合同理事会(予定)

11/10(火)前後 無電柱化の日イベント 北海道・大阪

11/13(金) 首長会第3回勉強会(佐久市)

2. 無電柱化推進展の人員確認

3. 総会後の新人事の件

4. 次回予定

前項、東京理事会で予定を案内

【活動報告】

6/30(火)17:00~17:55

北海道支部活動委員会

会 場: Zoom ミーティングおよび NPO 北海道支部

参加者: 16 名(北海道支部: 6 名、Web: 10 名)

「無電柱化 北海道フォーラム 2026」の開催成果と避難
路実態調査報告について

・NPO 電線のない街づくり支援ネットワーク 北海道支部・村
山支部長

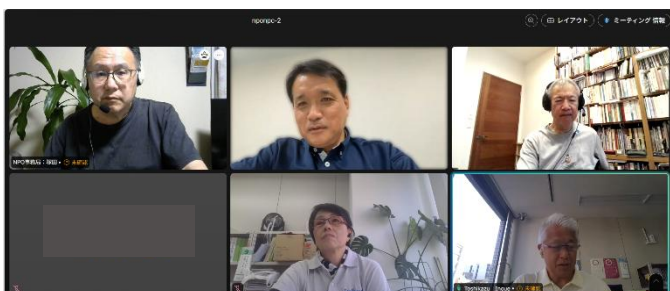
資料「北海道フォーラム 2026 開催成果・避難路実態調
査報告書」を元に説明

○今回のフォーラムの目的

- ・無電柱化を景観面だけでなく、津波から命を守る避難環
境として、新しい視点で開催
- ・北海道特有の課題を踏まえ、避難環境を支える社会イン
フラは何かを考えることが目的

○フォーラム開催概要

・Web事前申込 : 307 名



東京理事会の様子(PC モニター画面より)

【活動報告】

7/8(水)17:30~18:00

合同理事会

WEB: Cisco Webex

参加者: 12 名

1. 7 月の主な予定と今後の予定

7/14(火) 無電柱化推進展準備、交流会リハーサル

7/15(水)~17(金) 無電柱化推進展 本番



- ・参加者 : 269 名
- ・アンケート回答 : 71 件(回答率 26.3%)
- ・**基調講演**
「災害から命を守るデジタル技術の利活用」
「北海道の無電柱化の取組」
- ・**パネルディスカッション**
「あきらめない避難、あきらめさせない社会へ 避難路をどう守るか」
- ・**ロビー展示**
津波から命を守る避難路の実例と課題のパネルパネル展示
- ・**避難路実態調整 : 津波から命を守る避難経路実態調査アンケート調査**

※意識を伝えるだけでなく、自分事として考えることを重視したフォーラム

○なぜ開催したのか

- ・北海道沿岸地域の以下の課題を考えると、避難計画だけでは不十分で、実際に安全に逃げ切れるかが重要で、避難環境の視点から、無電柱化を考えるフォーラムを企画
- ① 積雪寒冷環境、② 長距離避難、③ 高い車避難依存、④ 夜間停電リスク

○パネル展示について

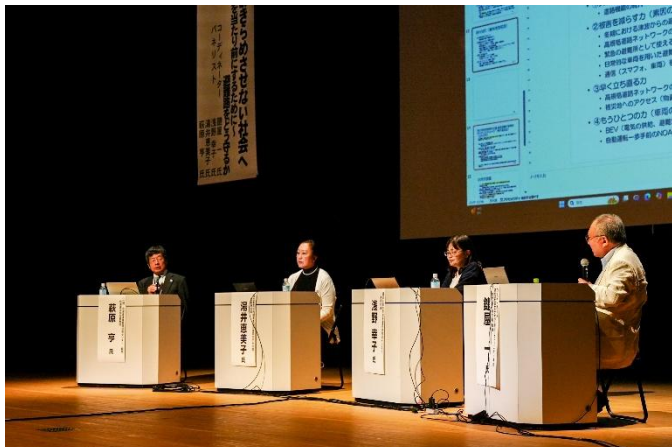
- ・「国の制度 → 北海道の地域性 → 自治体の津波避難 → インフラ」の流れで構成し、避難行動の前提条件を可視化した構成
- ・参加者が自然に避難を支える社会インフラの考えにたどり着けるよう工夫

○アンケート結果

- ・アンケートでは、避難できるよりも、“本当に逃げ切れるのか”の不安が多く寄せられた
- ・調査1: 北海道特有の課題を強く意識した避難への不安
① 冬季避難、② 夜間停電、③ 車避難
- ・調査2: 避難路のボトルネック 避難の妨げになる要因
① 車避難の渋滞、② 積雪寒冷地環境、③ 電柱倒壊により道路閉塞、④ 停電(特に夜間)等が上位を占めた
- ・これらは、避難計画だけでは解決しないインフラ課題の存在を示す

○無電柱化への認識変化

- ・フォーラム前:「景観→観光→まちづくり」の認識が中心



- ・フォーラム後:「避難路→道路閉塞防止→避難環境」へと認識が変化

「無電柱化は命を守る社会インフラ」の考え方が、参加者に共有されたことが最大の成果

○登壇者からの提言

- ・講演では、避難行動、デジタル技術、高齢者支援、地域防災等、多様な視点から議論
- ・共通事項は、行政だけでなく多様な主体が連携して、避難環境を支える必要がある

○ONPO 北海道支部からの問題提起

- ・「無電柱化は道路空間整備だけで良いのか」の問題提起
- ・北海道の積雪、車避難、停電等の条件を考慮し、避難行動の実効性の視点で避難路機能を考える必要があることを提案

○ONPO 北海道支部の今後の活動方針

- ・行政、電線管理者、地域防災、研究機関等と連携しながら避難環境の調査研究を継続するとともに、10月の「ぼうさいこくたい 2026 in 鳥取」で北海道フォーラムの成果と避難路の実態調査結果を全国に発信予定
- ・大会テーマの「共に考え・備え・守る～『支え愛』で守る命と暮らし～」の趣旨に添い、北海道で得られた知見を全国の防災関係者と共有
- ・北海道フォーラム 2026 を通して、無電柱化をどこで進めるかではなく、命を守るためどこを優先して整備すべきか、新たな視点を提案。今後も北海道開発局、北海道、自治体、電線管理者、地域の皆様と連携し、避難環境を支える社会インフラの実現に向けて取り組む

NPO 法人 電線のない街づくり 支援ネットワークの会員募集



私たちはこの NPO の活動を通して、日本の街に美しい空を取り戻したい、災害に強く、安全安心で住み良い街にしたい。そして“美しい国”を子ども達に残したい。

このような想いのもと、当 NPO の活動に共に参加し、年会費を通じて支援して下さる、個人・企業様を募集しています。ご推薦も是非お願い致します！

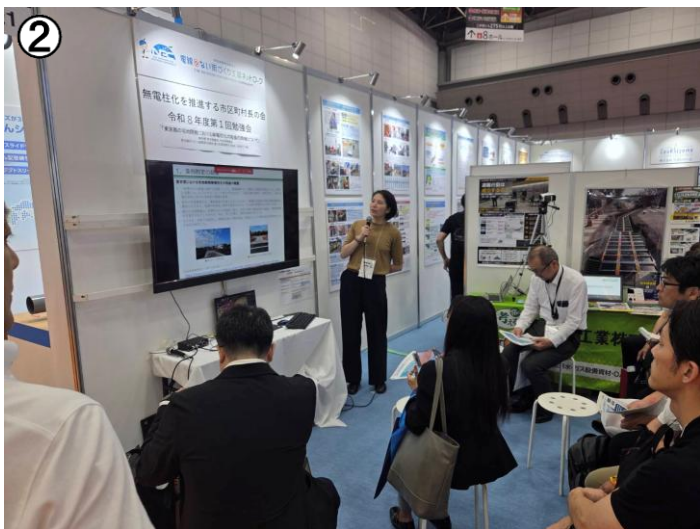
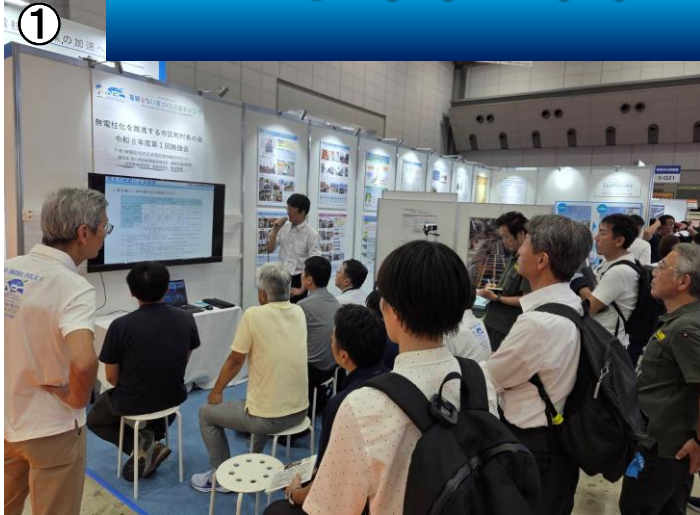


会員募集のご案内

<https://nponpc.net/%e4%bc%9a%e5%93%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86/>

7/15(水)～17(金) 第14回無電柱化推進展

長くて短かった3日間



今回の無電柱化推進展ミニセミナー はこんな予定で実施された！

7月15日(水)

13:10～13:40

北海道における無電柱化の日イベントの紹介(WEB)
国土交通省 北海道開発局 建設部 道路維持課 防災
第1係長 矢野 洋介

Point 【ワンポイント解説】

昨年行われた札幌・カ・ホでの無電柱化パネル展と今年
5月に開催された無電柱化北海道フォーラムについて解説
していただいた。

14:10～14:40

面整備における無電柱化の推進について

国土交通省都市局市街地整備課 課長補佐 野田幸久

Point 【ワンポイント解説】

国交省都市局で進められている面整備事業の無電柱化につ
いての解説。無電柱化の面整備での効果と電柱抑制の取組、
無電柱化まちづくり促進事業(R4創設)についての解説。加
えて具体的な開発地の事例紹介もしていただく。

15:00～15:30

第3次無電柱化推進計画を踏まえた無電柱化における
合意形成の取組み 【上の写真①にあたる】

国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部
道路環境研究室 主任研究官 根津佳樹

Point 【ワンポイント解説】

無電柱化の基本的な取組みや台風・地震・津波による電柱の
損壊状況・停電件数と電線類地中化の被災率との比較を紹介
するなど、国総研ならではの統計情報を紹介いただく。また同
研究所で進めている合意形成ガイド(案)を解説していただく。

7月16日(木)

11:20～11:50

ぶっちゃけトーク～狭隘道路と電柱の相性を改めて考え
る～ 【上の写真③にあたる】

NPO 大阪理事 井上了介、NPO 大阪理事 佐伯康二

NPO 理事・事務局長 井上利一

Point 【ワンポイント解説】

普段、2か月ごとに開催している全国技術委員会 OSAKA の延
長戦として東京ビッグサイトで実施。内容は耐荷重の規制緩和
(T25→T8)の検証や、ゾーンプラス 30を進めるための狭隘
道路の無電柱化を実現させるにはどうすればよいかなど、ぶっ
ちゃけたトークながら中味はまじめなトークショーを展開した。

13:10～13:40

北海道支部の活動から 5/14 に開催した無電柱化北海
道フォーラム 2026～津波から命を守る防災・無電柱化
へ～の概要報告を中心に

NPO 北海道支部長 村山一十四

Point 【ワンポイント解説】

NPOの中でも北海道支部の活動は、実に様々なことをされている。今回は5月に行われた(防災に特化した)無電柱化北海道フォーラム2026の内容を中心に村山北海道支部長に話していただいた。また北海道支部は、地域の特性から、津波避難による防災の無電柱化の重要性について言及された。

14:10~14:40

無電柱化推進の現状

当 NPO 副理事長 松原隆一郎

Point 【ワンポイント解説】

松原副理事長の話は、これから夏にくるインターン生の学生に無電柱化の現状を説明するのにそのまま伝えたい内容です。日本ではなぜ無電柱化が進まないのか、アジアの新興国では、経済的にも発展し、それに伴って無電柱化も進んでいる。一方、日本はいずれも低迷している。果たして、日本は新興国並みに無電柱化を進めることができるだろうか。

15:00~15:30

「地域の景観を活かす「無電柱化」推進のポイントの紹介」
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 地域

景観チーム 主任研究員 杉田和之

Point 【ワンポイント解説】

同研究所で発行されている『地域の景観を活かす「無電柱化」推進のポイント』を中心にお話いただいた。北海道という地域の特性を活かした無電柱化の手法のほか、諸外国との道路延長と無電柱化率の比較や(積雪などによる)高圧配電線の事故件数の推移など、無電柱化を進めるうえでの有効なエビデンスとなる資料もご紹介いただいた。

17:10~18:00

無電柱化推進展 ネットワーキング交流会

【上の写真④にあたる】

Point 【ワンポイント解説】

今回、初めての試みで実現した企画。日頃お世話になっている無電柱化関係者を来賓としてお招きし、名刺交換などを行いながらお話できる、情報交換できる機会をつくってみました。会場には、70名あまりのかたに来ていただき、楽しいときを過ごさせていただきました。来年も是非第2回が続けてできるといいですね！

7月17日(金)

11:20~11:50

「住宅開発で無電柱化するポイント！～実践編～」

NPO 無電柱ネット理事・事務局長 (株)ジオリゾーム代表

取締役 井上利一

Point 【ワンポイント解説】

無電柱化の宅地開発のエキスパートである NPO 井上事務局長・(株)ジオリゾーム代表が 20 分程度で分かりやすく解説。

①宅地開発での無電柱化のメリット

②無電柱化のまちができるまで

③はじめて無電柱化する際のポイント

④まとめ で構成

無電柱化はコストが高くて、交渉が難しい！既存の電柱・電線の流れに乗ってしまいそうですが、上記のような予備知識をもって臨めば、道は開ける、と。

14:10~14:40

海外の無電柱化事例紹介

NPO 東京支部理事 前川 充

Point 【ワンポイント解説】

毎年好評の無電柱化海外事例紹介！今回は、フランスを中心に紹介をしていただいた。前川理事の講演は、無電柱化の内容だけではなく、それぞれの街の歴史的背景や特徴も教えてくれてそこを訪れているような雰囲気なる。

フランスの無電柱化施工の具体的な事例は、とにかく屋間に工事をしている。わりと頻繁に。しかも簡易に浅層で。主要な都市では無電柱化が当たり前。日本では設置に関する交渉が難航する地上機器は、フランスでは、今や地下に設置するケースが増えてきている など。

15:00~15:30

「東京都の宅地開発における無電柱化の推進の取組について」【上の写真②にあたる】

東京都 都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり調整担

当課長(兼)指導調整担当課長 牟田口 千尋

Point 【ワンポイント解説】

東京都の牟田口課長には、今回の推進展で大変お世話になりました。当 NPO ブースでのミニセミナーの講演のほか、16 日の無電柱化交流会の参加、17 日のコンストラクションステージでの講演と、各方面でお力添えいただきました。

その点を牟田口課長にお伺いすると、今年の 10 月 31 日から施行する「東京における宅地開発の無電柱化の推進に関する条例」をできるだけ宣伝したい。また宅地開発の無電柱化の講習会を定期的に開催していることも宣伝したいとご返答いただきました。私も NPO でも、是非紹介していきたいと思います！ 具体的な内容は、下記をご参照下さい。

https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/kenchiku_kaihatsu/jyutaku/takuchimudentyuu

コンストラクションステージ講演 250 名規模の会場での講演！

昨年、東京都建設局だけだったコンストラクションステージでの講演を今年は連日3件の講演にいただきました。

7月15日(水) 10:20~11:00

東京都の無電柱化の取組について

東京都 建設局 無電柱化推進担当部長 小野寺 圭

7月16日(木) 16:20~17:00

第3次無電柱化推進計画について

国土交通省 道路局 環境安全・防災課 藤井久暢

7月17日(金) 12:20~13:00

「東京都の宅地開発における無電柱化の推進の取組について」

東京都 都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり調整担当課長(兼)指導調整担当課長 牟田口 千尋
※各講演ともほぼ満席・立ち見の聴衆もおられました。

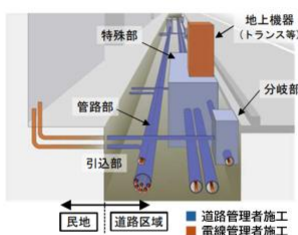
NPO ブースでのパネル展示の紹介 次回の無電柱化推進展に向けて！

今回のパネル展示は、最近なかなか新しい低コスト製品が出てこない現状を踏まえ、原点に立ち返って電線共同溝方式での施工行程を図式化することに致しました。合わせて宅地開発無電柱化の施工行程も示しました。電線共同溝方式の施工過程の全体像を示すと同時に、低コストのポイントも示しました。あわよくば、工程表の中に「課題や展望」なども入れて、参加者の皆さんに意見をうかがえたらと思いました。以下、該当パネルを示します。

無電柱化のすすめかた（電線共同溝工事の場合）①

工事の工程を紹介するとともに、関連製品・工法やその課題をご紹介

0. 電線共同溝とは（基本知識）



1. 整備前（無電柱化工事着手前）

電線共同溝の場合、路線指定を受けて進める



2. 試掘

試掘で埋設物（ガス管・水道管など）がないかを確認する。支障がある場合、移設を行う。



参考資料:国土技術政策総合研究所「無電柱化事業における合意形成の進め方ガイド(案)」など

●今回の推進展パネルデータ(詳細は下記リンクから)

パネルデータは、<https://nponpc.net/wp-content/uploads/2026/07/cad417a3d4657c27eccb5c58a0785dc7.pdf>

無電柱化のすすめかた（電線共同溝工事の場合）②

4. 特殊部設置

指定の位置に特殊部を設置する。マンホール(蓋)を設置する。



5. 管路敷設

電力管及び通信管を敷設する。



低コストpoint トレンチャー

北海道や離島での掘削の場合、正確かつ迅速に掘削する重機として、トレンチャーが注目されている。トレンチャーは、「溝」を連続的かつ高速に掘削する専用機械で、チェーン式やホイール式などの回転刃を用いて、バットホウ(ショベルカー)の約2倍の速さで、一定幅・深さの正確な溝を掘ることができる。管路敷設の際、工期短縮に貢献。

低コストpoint 小型ボックス

管路敷設の素材として、小型ボックスがあげられる。小型ボックスの中に低圧の電力ケーブルと通信ケーブルを一緒に収容し、ボックスの下に管路を設けて高圧の電力ケーブルを収容する。需要密度の低い地域や需要変動が少ない地域の生活道路に適している。

低コストpoint 浅層埋設

管路敷設での更なる低コスト手法として、浅層埋設が検討されている。ヨーロッパなどでは、ごく普通に施工されているケースがあるが、日本では、安全面を考慮して山間部などの電力需要の少ないところからの実証実験が実施されている。

参考資料:国土技術政策総合研究所「無電柱化事業における合意形成の進め方ガイド(案)」など

無電柱化のすすめかた（電線共同溝工事の場合）③

6. 引込管設置

電力・電話ケーブルなどをビルや住居に引き込む。



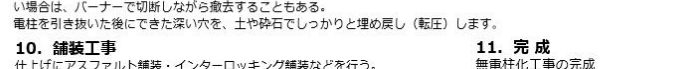
7. ケーブル敷設

特殊部から管路にケーブルを挿入し、次の特殊部までケーブルを敷設する。



8. 地上機器の設置

設置位置に地上機器を設置する。各種ケーブルの接続を行う。



9. 電柱撤去(抜柱)

地中ケーブルのサービスが始まった段階で、空中の電線を撤去する。その後、抜柱機を用いて電柱を撤去する。



10. 舗装工事

仕上げにアスファルト舗装・インターロッキング舗装などを行う。



11. 完成

無電柱化工事の完成

埋設物探索・支障物移設は必要に応じて実施。

参考資料:国土技術政策総合研究所「無電柱化事業における合意形成の進め方ガイド(案)」など

国総研さまと協力して、今後さらにブラッシュアップした行程表を作成していきたいと思ひます。

その他、振り返りと今後の展望 次回の無電柱化推進展に向けて！

1. 協賛企業の製品展示について

今回、未来工業(株)さま、(株)オーコさまの2社が NPO ブース内の製品展示に協賛いただきました。

いつもありがとうございます。

その他、ご検討をいただいた企業さまも来年は是非ご出展をお考え下さい。

2. 東京都省エネ・再エネ住宅普及促進補助金での展示展開について

当 NPO は、東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォームに加盟している団体で、東京都省エネ・再エネ住宅普及促進事業補助金に申請しています。

<https://www.syoenesaiene-pf.metro.tokyo.lg.jp/>

今回は、ブースの一角を利用してパネル展示させていただきましたが、

できれば、省エネ・再エネ住宅の取組と無電柱化住宅の取組を展示していただけるハウスメーカーさまやそれに関連する製品・サービスを扱っておられるメーカー様にも是非来年の出展をご検討いただけるとありがたいです。いまの無電柱化は、線から面へ、面へのアプローチに係る生活道路(狭隘道路)の無電柱化へと、無電柱化を広げる機運が高まっています。

無電柱化の裾野を広げ、交流を増やす機会をつくっていただける企業さまをお待ちしています。

今回の無電柱化推進展が、これからのスタートになるように…。

(下の写真右側が東京都)



3. その他、気づいた点で

・NPO ブースのパネル展示、「無電柱化のすすめかた(電線共同溝工事の場合)」と「無電柱化のすすめかた(民間宅地開発の場合)」のパネルは、写真で撮って帰るひとが多くみられた。

→図や写真、解説を加えながら全体像が見れるものを案外求めているのかもしれない。

→自治体担当者には、いいかもしれませんね。

→そこに低コスト商材や低コスト提案商材を NPO 独自のものとして入れる(商材についての課題や展望なども加えると更によいかも)。

・防災関係者だったらよく聞く、「72 時間の壁」だが、松原副理事長が 6 月 3 日の基調講演でも触れていただいたのを思い出し、防災のパネルに是非入れようと考えて、入れました。

→「72 時間の壁」という、時間の経過とともに生存率が下がる根拠となるデータによって、無電柱化が道路閉塞を解消でき、防災面で威力発揮することを、参加者に説明するよいきっかけになった。

イベント案内

8 / 6 (木)開催、東京活動委員会 のお知らせ 参加申込はココをクリック！

CLICK



この度、当 NPO 東京支部主催で、東京活動委員会を開催いたします。

内容をご確認の上、下記の申し込みフォームよりお申し込み下さい。

日時:2026 年 8 月 6 日(木) 18:00~19:00

会場:経団連会館8階 住友林業会議室 M-2

◆当日のプログラム(予定)◆

18:00~18:05(5 分) 支部長挨拶 NPO 北村支部長

18:05~18:20(15 分) 7/21 開催、国交省 令和 8 年度第 1 回施工技術改善 WG の概要報告

今年度、新たに立ち上がりました国交省の部会について報告 当 NPO 井上事務局長

18:20~18:55(35 分) 7/15~17 開催、無電柱化推進展の振り返り

今年も多彩な講師陣にお集まりいただき、連日、盛況のうちにセミナーを催すことができました！

当日はミニセミナーや、今回、初めて企画しました無電柱化推進展ネットワーキング交流会を中心に話します！

※大阪の第 15 回全国技術委員会 OSAKA は、8/31(月)15:30~16:50 を予定しています。

詳細(申込フォーム有)はこちら(クリックで)！